大衆日報

大衆日報社
発行責任者：越川和恵
銚子市春日町3218-1
電　話 0479(25)0030
ＦＡＸ 0479(25)1100
電子メール
taishunippo@wine.ocn.ne.jp
購読料 1カ月 1,800円
郵　送 1カ月 2,700円

銚子警察署が ガラスリソーシングに支援要請！

大地震想定した『総合災害対策訓練』で警察機能を市立銚子に移転

災害用備蓄倉庫"蔵"から物資搬送!!

「太陽に吠えろ」「西部警察」のような緊張感

銚子警察署からの支援要請の電話を受けるガラスリソーシング㈱の飯野真紀課長

銚子警察署機能移転に伴う災害用物資の搬送に協力したガラスリソーシング㈱の大網将史主任

市立銚子高校で災害用物資の搬入を行なう銚子警察署員

「銚子沖で大地震が発生し、銚子警察署が被災しました！代替施設である市立銚子高校に臨時の銚子警察署・総合災害対策本部を設置しましたので、至急、ガラスリソーシング様からの災害支援物資の搬送をお願いします!!」

銚子警察署から緊迫した支援要請の電話を受けたのはガラスリソーシング㈱の飯野真紀課長。飯野課長が早速、伊藤憲一会長と赤坂修社長にその旨を伝え、イザ出陣。同社の災害用備蓄倉庫"蔵"から食料品や寝袋などを鈴木芳明顧問と大網将史主任が緊急車両で搬送を開始した。あたかも「太陽に吠えろ」か、はたまた「西部警察」のワンシーンを見るかのごとき張り詰めた空気…実は、訓練なので読者の皆様ご安心ください。

市立銚子高校で災害用物資の搬入を行なう銚子警察署員

鈴木芳明顧問と大網将史主任が乗ったガラスリソーシング㈱の緊急車両が災害用備蓄倉庫"蔵"を出発！

9月1日の「防災の日」に先駆け8月30日（木）銚子警察署は大地震発生を想定した『総合災害対策訓練』を実施した。想定は「8月30日午前8時30分、銚子沖で大地震が発生し銚子警察署が被災。代替施設である市立銚子高校音楽棟3階に臨時総合災害対策本部を設置するに伴い、かねてより大規模災害時における施設・重機の使用及び防災備蓄物資の供給に関する協定を締結していたガラスリソーシング㈱に支援を求める」というもの。

市立銚子高校に設けられた銚子警察署総合災害対策本部では本番さながらの無線通信も行なわれた

重機の使用準備訓練も

この協定は平成29年8月に銚子警察署と同社の間で結ばれたもの。協定では防災備蓄物資の提供に加え、ガラスリソーシング㈱が銚子市春日町の本社に建設した「危機管理棟の使用」も含まれているが、今回はこちらは使用せず、緊急物資の搬送訓練と同社が成田工場に保有する重機の使用準備のみに的を絞って訓練が行なわれた。

銚子警察署の代替施設となった市立銚子高校にガラスリソーシング㈱の緊急車両が到着するや、署員たちがスピーディーに緊急物資を校舎内に運び込み、臨戦態勢が整えられた。同社から運び込まれた物資は次のとおりで、残暑の中、署員たちは大汗を流しながら搬入に追われた。また、留置被疑者の避難誘導訓練も本番さながらに行なわれ、被疑者役警察官の演技力の高さにも驚かされた。

災害用自転車の搬送を行なったガラスリソーシング㈱の鈴木芳明顧問と大網将史主任

▼ガラスリソーシング㈱からの緊急物資（カッコ内は個数）

①救急箱（3箱）
②災害用備蓄パン（24個入り4箱）
③長期賞味期限食品（50袋入り3箱）
④保存水（2000㎖16本入り1箱）
⑤アルミブランケット（80枚入り1箱）
⑥担架（1台）
⑦災害自転車（1台）
⑧防災用ウエットティッシュ（108個入り1箱）
⑨防災用ロープ（200m1本）
⑩寝袋（10枚入り2箱）
⑪セブンオーシャン（24個入り3箱）
⑫防災食ポークカレー（50食入り3箱）
⑬防災バッグ（10個）

※⑩～⑬は「銚子警察署の防災力向上のために」と訓練後、ガラスリソーシング㈱から同署に寄贈された。

市立銚子高校では銚子警察署の「留置被疑者避難誘導訓練」も行なわれた。被留置者役は、いずれも銚子署のおまわりさんです

ガラスリソーシング㈱提供の災害支援物資の数々

市立銚子高校に設けられた銚子警察署総合災害対策本部

ガラスリソーシング㈱成田工場で、訓練に参加した油圧ショベル、ホイールローダーなど（上）とトラック群

市立銚子高校の伊藤政利校長と話し合う鏑木秀樹・銚子警察署長

「反省点を本番に活かせ！」

ガラスリソーシングの「ご協力に感謝」と鏑木秀樹署長

一方、「大地震により停電が発生し、信号機の機能がストップ。銚子署員による手信号で交通整理を行なうとともに、発電機による信号機復旧を目指す」と想定した訓練は銚子市三崎町のセブンイレブン・ドーバーライン店前の信号で行なわれ、こちらも署員が奮闘しスムーズに交通整理が行なわれた。

訓練を終え、鏑木秀樹・銚子警察署長は、「今日は自主参集訓練・信号機訓練・留置被疑者避難誘導訓練、そして最後に銚子警察署機能移転訓練を行ないました。残暑の中、大変お連れ様でした」と述べ、次のように署員に向けてあいさつした。

訓練で安全走行を呼びかける銚子警察署交通課の平山正二さん

▼鏑木秀樹・銚子警察署長

「銚子警察署機能移転訓練」は今年に入って初めての実施でしたが、ガラスリソーシング様のご協力もありスムーズにできました。しかし、本番ではなかなかスムーズにできないこともあると思いますので、引き続き訓練を行ない、この訓練の反省点を"もしもの本番"に活かしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

セブンイレブン・ドーバーライン店前では銚子警察署による手信号の訓練も行なわれた

訓練を終え、署員を督励する鏑木秀樹・銚子警察署長